

- 2. 高層部吹き抜け
- 3. 低層部吹き抜け
- 4. 2階テラス

●設計者

●施工者 戸田建設㈱

●敷地面積 53,224㎡ ●建築面積 2,662㎡ ●延床面積 12,242m²

●階数 地上8階

●竣工日 2022年3月31日

(株)松田平田設計

●構造 鉄骨造、一部コンクリート充填鋼管造

詳細や他の写真などは

左記の二次元コードから

Webページにアクセスしてご覧ください。

した大学建築の好例と言えるだろ 明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア ●所在地 東京都杉並区永福1-9-1 (学)明治大学 • 建築主

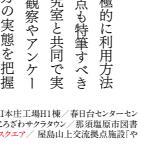
これらの取組みは、環境性能に配慮 せる仕組みは特徴的な試みである。 給気に利用し、排熱効率を向上さ 環境計画がなされている。大教室の 画など、建築空間の特性と一致した を活かすための床吹き出し空調計 実施されている。グループボックス 共同で実測調査と初期性能検証が 成しており、 では○・四八という優れた数値を達 める工夫も随所に見られる。BEI AHUの排気をモジュ 本計画には、エネルギ 竣工後も学内研究室と -ルチラ -効率を高 0)

取組みを継続することで、 以降の多様な学びのスタイルに対応 実践が続けられている。このような 器の配置調整を行うなど、現場での 態調査を行い、行動観察やアンケー を試行錯誤している点も特筆すべき である。学内外の研究室と共同で実 し、変化に応えながら、学生の活気 を通じて使われ方の実態を把握 運用開始後も、積極的に利用方法 学生の意見を集約して家具・ コロナ禍

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館/エスコンフィールドHOKK AIDO/Otemachi One/OKI本庄工場H1棟/春日台センターセンター/京都東山計画(山荘 京大和・パーク ハイアット 京都)/ 高機城公園芸術文化劇場/東京ミッドタウン八重洲/ところざわサクラタウン/那須塩原市図書館 みるる/福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館/MIYASHITA PARK/明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア/ 屋島山上交流拠点施設「や

あふれる空間として成長して

とが期待される計画である。



第65回 BCS 賞

選定理由【選考委員】 和泉ラー ニングスクエアは、

学びを促進する新しい学習スタイ である。堀口捨己による旧校舎の老 ルの確立を目指している。 とともに、学生の主体的・対話的な 朽化や、授業形態の変化に対応する して計画された新校舎プロジェクト ャンパスの段階的再整備の一環と 和泉

提供することに挑戦した点である。 学びのスタイルに対応した空間を 計・施工が一体となり、コロナ禍 を経て大きく変化した学生たちの ·には、様々なサイズの「ボックス」 ーズを丁寧に分析し、多種多様な 配置されており、個人学習か ループ学習、カジュアルな交流ま 施設の中心となる吹き抜けの周 本計画の大きな特徴は、 施主・

されたものである。

で、極めて幅広い学生の活動を支え る多様な居場所が創出されてい 先の鉄筋コンクリ

用しながらの新築と解体や、旧校舎 寧に応える計画がなされている。 など、敷地条件や意匠的要求に丁 限定されるなか、近接する校舎を使 の意匠の継承を意図とする鉄骨梁 ト造下がり壁

ている。 全体を一体感のある学び この「ボックス」のモチ フが、施設 の場

居場所の選択肢を増やすとともに、 釈したものである。テラスは学生の 建物に彫りの深い表情を与え、前面 による意匠を継承し、現代的に再解 的な外観は、 テラスと外部階段からなる特徴 旧校舎の屋外スロー

の広場を含めた内外の一体感を生 この外観や内部吹き抜け周りの 「している。

ど、随所の構造的工夫によって実現 構造柱は細く、軽快な表現となって 施工面では、工事車両の侵入口 る。これは耐震要素の集約配置な

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。 この賞は、1960年にはじまり2024年で65回を数えました。

周年記念